

平成19年度市民公益活動促進補助金申請事業公開審査の結果

●公開審査実施日：平成19年4月15日（日）

●審査会名：大阪狭山市市民公益活動促進委員会「協働事業評価部会」

●公開プレゼンテーション参加団体数及び事業数：12団体・13事業 ●総補助金申請額：3,803,000円 ●全体平均点：33.8点

①審査員一人の持ち点は、45点です。今回、審査員が所属する団体の申請があり、審査員に辞退者が出たので、獲得点数ではなく、平均点で順位を決めました。

②協働事業評価部会の審査を踏まえ、平成19年5月11日（金）開催の大阪狭山市市民公益活動促進委員会で審議を経て公表するものです。

順位	発表順	申請団体名	平均点	獲得点数	審査員数	申請額(円)	査定額(円)	申請事業の概要	審査会からのコメント
1	5	大阪狭山キジムナーの会	38.6	309	8	500,000	500,000	中高校生が歌、演奏、ダンス、芝居で構成した演劇ワークショップを通じて、本格的な舞台を実現することで、人を感動させることのすばらしさを体験し、自分と他人の存在、命の大切さなどを理解できるリーダー養成を行う。 通年事業	狭山にふさわしい団体であると思う。中高校生で忙しい時期なのにすばらしいものがある。事業費の1/3が補助金であり、今後自立に向けて企業等のサポートも考えており、期待できるものである。
2	3	さやまコミュニティクラブ	37.1	297	8	500,000	500,000	小学校を拠点として、いつでもだれでもが気軽に参加できる継続的なスポーツや月替わりのイベントを取り入れ地域の人が楽しめる交流の場を提供することにより、地域のコミュニケーションの再生を図る。 通年で実施	主に東小学校を拠点に事業を展開しているが、全市域からの参加を受け入れつつ、地域コミュニティの再生を目指した事業として評価できる。
3	6	大阪狭山市食生活改善推進協議会	37.0	296	8	60,000	60,000	食生活の面から市民の健康づくりを推進し、資質の向上を図るとともに栄養改善を進めるための食育講演会・食育教室の実施 19.5月・6月・9月・12月	食育にかかわる事業であり、内容についての評価は高い。PR方法を工夫するなど、会員数の増加を図るべきとの意見があった。手作りの実物教材を持ち込んでのプレゼンは効果的であった。
4	13	特定非営利活動法人ワークレッシュ	36.9	295	8	200,000	200,000	夏休み期間に、旧くみの木幼稚園の保育室とグラウンドを活用し、遊び場・居場所の少ない子どもたちに開放する。市民や大学生が、子どもたちの見守りや学習・遊び・相談相手になることで、民間ベースの青少年会館や児童館のような役割を果たす。 19.7月・8月・9月	受け身の学習から市民活動へ市民協働事業として評価できる。今後の展開に期待できる。地元の大学との連携にも取り組んでもらいたい。
4	11	大阪狭山美術協会	35.1	281	8	500,000	500,000	美術協会会員と一般公募の作品や市内の幼稚園・小学校・中学校の児童画の展示会を開催する。 19.10月	展示作品のレベルの高い美術展として高く評価するが、継続して補助対象事業になっているが、本補助金制度の中での位置づけについては検討の必要がある。
6	7	大阪狭山市吹奏楽(管弦打)連盟 ソロコン	34.6	277	8	470,000	470,000	これまでの管楽器・打楽器に弦楽器を加えたソロ・アンサンブルのコンテスト。アマチュア演奏者に日頃の練習成果を発表する場を提供し、関西大会への出場予選を兼ねる。 19.1.26・27・2.3	アマチュア養成という意義ある事業であり、自立を目指しての事業展開も考慮されている点は評価できる。本補助金制度創設時から継続して補助対象となっている事業であり、さらなる自立に向けた展開を期待したい。
7	10	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブNALC大阪狭山	34.5	276	8	211,000	211,000	子育て世代のニーズに応える事業として、ナルクの子育てスタッフと参加親子が一緒になって、子ども中心の遊びをする。子育て相談・情報交換会・食育の指導・交流会等の実施 通年で実施	時代の要請にマッチした事業で評価できる。参加費の徴収については、市が実施する同種の事業が無料であることから評価委員の意見が分かれた。
8	4	邦楽コンサート実行委員会	33.9	237	7	200,000	200,000	個々の団体・教室だけではなく大規模な発表会を開くことができない小グループや個人に発表の場を提供し、日本の伝統音楽の普及を図る。演奏内容は、親しみやすいものを取り入れ、市民に密着したものでありながらイベントとしてはプロ的なものをめざす。 19.12.02	伝統文化の普及に有益な事業として評価できる。プログラムも工夫されていて親しみやすい内容が期待できる。本制度創設時から連続して申請があり、対象になる年とならない年がある。補助金の枠組みでの位置づけを検討する必要がある。
9	9	大阪狭山市吹奏楽(管弦打)連盟 ハートフル	32.8	262	8	295,000	295,000	子ども達に生の演奏を聴く機会を無料で提供し、音楽をより身近なものとして親しんでもらう。三部形式の吹奏楽コンサートの開催 19.6.30	事業としては評価できる。予算額についてもう少し細かな内容説明が必要。市の補助制度からの脱却に向けて新たな展開を期待する。